

大学創立三十周年にあたって

学長 稲 別 正 晴

桃山学院大学創立三十周年を記念して、ここに本誌を刊行できますことは大きな喜びであります。

顧みますと、本学は1959年（昭和三十四年）経済学部のみ大学として設立されて以来、1966年（昭和四十一年）に社会学部、1973年（昭和四十八年）に経営学部が設置されその充実が計られてきました。そして本年四月には念願の文学部（英語英米文学科・国際文化学科）が設置され、ここに文科系総合大学への大きな一歩を踏み出すことになりました。

この三十年間の本学の歩みは決して平坦なものではありませんでしたが、いまや四学部・六千名の学生を擁する大学にまで発展し、また、すで二万八千名を越える有為な人材を社会に送りだし、社会からも高い評価を受けるまでに至っております。

今日、科学技術の高度化、国際化・情報化社会の進展とそれともなう物質文明の発展には著しいものがあります。しかしながら同時に、人類社会は核の脅威、環境、資源、人口・食料などの様々な問題に直面しております。このような社会的状況は人類にたいして、新しいグローバル社会の仕組みの構築を求めており、これとともに研究・教育を担う大学への期待は増大しております。

人類の未来はますます文化、科学、技術の発展に依存しており、したがって研究と教育を通じて文化を創造する大学の責任は極めて重大であります。今回の記念号が、学内の研究活動に大きな刺激を与え、また関係する諸分野での学問進歩に大いに寄与することを期待するとともに、第二世代を迎えた本学の研究活動のいっそうの発展の一つの礎石となることを心から念願するものであります。